

Title	AICカンファレンス2024実行委員長挨拶
Sub Title	
Author	矢向, 高弘(Yakō, Takahiro)
Publisher	慶應義塾大学AI・高度プログラミングコンソーシアム
Publication year	2024
Jtitle	AICカンファレンス予稿集 (2024.) ,p.2- 2
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	会議名：AICカンファレンス2024 開催地：慶應義塾大学協生館AICラウンジ、および多目的教室 日時：2024年3月7日
Genre	Conference Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO11003001-20240307-0002

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

AIC カンファレンス 2024 実行委員長挨拶

文明の発展は、人類の知的好奇心や探究心が原動力です。理想を追求する熱意と言い換えてもいいでしょう。10 年ほど前から人工知能(Artificial Intelligence: AI)の発展が世界的に注目されるようになり、慶應義塾には AI に知的好奇心を持つ塾生が増えていました。しかも理系に限らず、文系にも同時多発的に増加していました。そのように全塾に散在する塾生達に学習の機会を提供し、学部や研究科の隔たりを超えて互いに教え合い学び合うコミュニティを形成するために、私たちは 2019 年度に AIC を発足いたしました。

2 年ほど前からは、生成 AI(Generative AI)が爆発的に発展し始めています。あまりにも技術的な発展が速すぎて、社会的受容が追いついていません。著作権をはじめとする各種法整備が必要なことはもちろんのこと、人の心に与える影響など様々な観点からの懸念を検証したり、悪影響を払拭するための仕組みを整えたりすることも必要でしょう。このように生成 AI を取り巻く喫緊の課題を鑑み、AIC カンファレンス 2024 では生成 AI に関連した研究をされている塾内教員を集結して、様々な視点から議論が行える機会を提供することにいたしました。様々な学部・研究科の教員と共通の話題について議論できる機会は大変貴重です。ぜひ、人類と生成 AI との付き合い方の理想を追求してください。

ポスターセッションには昨年度と同様に塾生からの発表を募集し、10 件の研究を発表して頂けることになりました。AI や高度なプログラミングという興味の対象を共有する塾生が、学部・研究科や学年の隔たりを超えて集結する機会も貴重です。カンファレンスが終わってからも、連絡を取り合えるような仲間をぜひ見つけてください。カンファレンスに参加するすべての方が、有意義な時間を共有し、学びあえることを楽しみにしております。

AI・高度プログラミングコンソーシアム代表

AIC カンファレンス 2024 実行委員長

矢向高弘